

沖縄近現代史事始め

—「戦後」70年目にみる「牡丹社事件」in宮古島—

【講座内容】

「戦後」70年の節目である2015年は、十五年戦争（＝アジア・太平洋戦争）に対する日本の歴史認識が、近隣アジア諸国のみならず、世界的に問われることでしょう。沖縄では、先の戦争の最終局面に位置づく沖縄戦について、その淵源をたどる作業はより重要度を増すと考えられます。

琉球王国が崩壊し、近代日本による沖縄県の設置に至る過程は「琉球処分」と称されますが、「琉球処分」後の「大和化」の究極的な形態ともいべき皇国臣民化の行きついた先が沖縄戦である、といわれます。

「戦後」70年目を迎えた宮古の地で、沖縄戦の淵源をたどる作業、つまり、沖縄近現代史の始まりについて、「琉球処分」の契機となった「牡丹社事件」（＝琉球漂流民殺害事件）という宮古島に深く関わる事件を中心に、再考してみましよう。

- 開催日時：平成27年7月25日（土） 14:00～16:00
- 開催場所：宮古島市中央公民館（琉球大学サテライト宮古島キャンパス）
- 講師：大浜 郁子（琉球大学法文学部 准教授）
- 対象者：市民一般、教員等
- 受講料：無料
- 申込方法：電話、FAX、下記ホームページからお申し込みください。

【お問い合わせ・申込先】

国立大学法人琉球大学

総合企画戦略部 地域連携推進課

TEL: 098-895-8085(平日9:00～17:00) FAX: 098-895-8185

E-mail: tyurasimajigyou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

ホームページ: <http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/lecture>

